

普及活動情勢報告（令和4年11月分）

高吾農業改良普及所

“安定的な雇用確保を目指して” 研修会を開催しました



10月19日、普及所はJA高知県日高支所ハウス園芸部会のトマト生産者を対象に労務管理のために必要な基本的知識を学ぶ研修会を開催しました。トマト生産者15名と就農予定者3名が参加しました。

研修会では、講師の特定社会保険労務士が講師となり、労働契約や就業規則、労災保険等について説明をしました。

特に労災保険については関心が高く、「通勤途中で事故に遭った場合は労災の該当になるのか」「労災保険は経営主も対象になるのか」などの質問がありました。

普及所では、今後もトマト生産者が安定的な雇用確保を目指すために必要な労務管理について経営面談等で啓発していきます。

新規就農者確保に向けた取組～佐川町イチゴの産地紹介～



10月11日、普及所では県立農業大学校で学生を対象に佐川町のイチゴの新規就農者確保支援のため、パワーポイントを活用し、産地紹介を行いました。

管内のイチゴ部会の紹介や産地PR動画を見てもらい、農家の声を学生に届けました。学生からは、農家の所得や就農後のサポート体制について質問がありました。

今後も普及所では、イチゴの新規就農者の確保に向け、産地のPRを支援していきます。

佐川町でのスマート農業機器現地実演会



11月18日（金）、佐川町スマート農業推進協議会は、令和4年度の現地実演会を梨の実証園地で行い、管内の農家4名を含め、メーカー、県内の関係機関から18名の参加がありました。

普及所からは推進協議会の活動について説明し、メーカーが農業用無人車「R150」（防除モード）の説明や薬剤散布の実演を行いました。また、室内討議では他の果樹園での自動運転の散布状況や今後期待される機器の紹介を行いました。参加者からは、農業用無人車「R150」の価格、散布角度等の処理能力、使用の条件等について質問がありました。

普及所では、これからも管内の果樹生産部会でスマート農業機器を紹介していきます。